

# 県共闘

神奈川県共闘ニュース

発行 神奈川県労働組合共闘会議

住所 〒231-0028

横浜市中区寿町1-5-14新見ビル4階

電話・FAX 045-319-4391

Twitter :@kanagawaroudou

2022年10月27日

## 第28号

## 全労協・第34回定期全国大会開催!

10月10日～11日、全労協大会が東京・大田区産業プラザP I Oを会場に開催された。コロナウイルス感染症蔓延の影響を受け、今年もリモート参加(18人)も含む大会となったが、3年ぶりの2日間開催で会場には役員のほか、過半数を超える46人の代議員が出席した。大会議長には東水労と国労の代議員が選出され、議事が進行した。渡辺議長の挨拶に続き、社民党福島党首、立民党大河原衆院議員、新社会党長南書記長、藤崎顧問から来賓挨拶があった。(金沢前議長、鳥井一平移住連代表は紹介のみ)

経過報告・方針提案(当日配布の補充議案「J A L闘争について」他1件あり)は中岡事務局長が、会計決算報告・予算案提案は久保次長が、監査報

告は西山監査委員が、それぞれしっかりと行った。その後、質疑・討論・報告に移り、2日間で20人の発言があり、各地域・単組の活動・闘争報告、脱原発や最賃への取り組み意見などが議論された。なかでもJ A L闘争については激しい意見のやりとりがなされた。2労組の「解決」を受け、国民支援共闘の解散が決まろうとしているなか、全労協全体として一定の到達点とする。との執行部提案に対し、3人の代議員からJ H U組合員等36名が解雇撤回を闘い続けている現状から執行部方針に反対・再考を求める意見でした。採決の結果、補充議案も含め原案が可決された。大会宣言、決議案が3本(労働法制改悪を許さない決議案は川端常任幹事が読み上げ)、全てが全会

一致で確認された。大会議長からは退任の挨拶で「この先開かれる常任幹事会でJ A L闘争に対してしっかりとした論議を求めると発言があった。なお、今大会の役員改選で、中岡事務局長が退任、野中さんがその後任にあたる。全労協で長きにわたり活躍してこられた中岡さんお疲れ様でした。

(報告・県共闘事務局長小内)



(第34回全労協定期大会の様子)

## 県共闘・第32回

### 定期大会のご案内

【日時】

2022年12月3日(土)

14:00~

【場所】

神奈川県労働プラザ

5・6会議室にて



〒231-0026

神奈川県横浜市中区寿町1丁目4

神奈川県の最低賃金が変わりました。(2022年10月1日から)

時給 **1,071円に!** (31円UP)

神奈川県の最低賃金(地域別最低賃金)は、10月1日から31円引き上げられ1時間1,040円から1,071円になりました。県内で働くすべての労働者に適用されます。時給1,071円未満での契約は違法となります。

また、この10月からは全国各県の最低賃金も改正されました。人口を加味した全国加重平均で31円増、930円から961円となりました。私たちの求める1500円にはまだまだですが安心して生活ができる最低賃金を求めましょう。

全国加重平均  
930円→961円(+31円)



						853 青森	919 北海道
						853 秋田	854 岩手
						854 山形	883 宮城
						890 新潟	895 群馬
						888 福井	891 石川
						908 富山	987 埼玉
						908 滋賀	908 長野
						927 岐阜	898 山梨
						1023 大阪	910 東京
						960 兵庫	1072 千葉
853 長崎	853 佐賀	900 福岡	888 山口	857 鳥根	854 鳥取	968 京都	927 滋賀
						930 広島	892 岡山
						853 愛媛	878 香川
						853 徳島	856 徳島
853 沖縄	853 鹿児島	853 宮崎				896 奈良	986 愛知
						1071 神奈川	
						889 和歌山	933 三重
							944 静岡

【発行】 神奈川県労働組合共闘会議 【発行日】 2022年10月4日  
【住所】 神奈川県横浜市中区寿町1-5-14F 【連絡先】 045-319-4391

神奈川県労働相談センターの電話相談とメール相談員及び、寿街角労働相談員を募集しています。ご協力よろしくお願いたします。

9月17日(土)、県共闘の新たな取り組みとして戦争史跡見学会を企画し、「登戸研究所資料館」(第九陸軍技術研究所)を訪れました。コロナ禍により入館制限(10名)されたこともあり、6名の参加となりました。

資料館は川崎市多摩区、小田急線生田駅から徒歩で15分の明治大学生田キャンパス内にあり、当時は、場所が分からないよう「登戸研究所」という秘匿名で呼ばれていたそうです。

《「秘密戦」のための研究開発》

戦争には必ず必要であった「秘密戦」(防諜・諜報・謀略・宣伝)のための研究開発がここで行われていたが、そ



資料館内にある風船爆弾の模型

の存在は国内においても秘密にされていました。主に電波兵器、スパイ戦、生物・化学兵器の開発、偽札も製造されていました。また、風船爆弾も開発され、1944年から9300発も放球され、アメリカに1000発以上が着弾(死者あり)していました。ここで開発された兵器・資材は、人道上や国際法規上許されないものもあると聞き戦争の真実を垣間見た思いでした。

《暗部に迫った高校生》

陸軍省は1945年8月15日早朝から証拠隠滅を行い、また、研究員などなどには秘匿の指示が出され口を閉ざしてきました。闇に葬られそうになった「登戸研究所」の活動を明らかにしようとしたのが地元川崎の高校生と研究所の疎開先となった長野県の高校生たちです。

昭和の時代が終る80年代末、生徒たちによる元研究員などからの聞き取り調査により、貴重な証言や資料などが明るみに出ることとなり、その一部を、今見ることが出来るようになったのです。ある関係者は、「歴史から抹殺されることに疑問を持った元研究員たちが、若



(明治大学校内にある登戸資料館)

い世代に戦争の恐ろしさを伝えたいと思ったのでは」と記しています。

《見学を終えて》

館内は、5つの展示室があり、30分もあれば見て回れるほどの展示スペースですが、ガイドさんの熱い語りで、2時間の見学でしたが、戦前日本の戦争・軍隊を知る上で、極めて貴重な戦争史跡の一つを知ることが出来ました。

日本軍が戦争の裏舞台で暗躍した諸活動の一端を明らかにすると、この事実を広めることが求められています。入館料もガイド料も無料です。来館の際は、必ず事前予約し、ガイドさんを希望することをお勧めします。秘められた戦争の裏側を是非、多くの方にご覧頂きたいものです。

全国一般神奈川第25回定期大会開催

9月25日、全国一般神奈川は、かながわ労働プラザホールで第25回定期大会を開催しました。コロナ感染対策として来賓招請の限定を行い、会場には組合員40人が集結、来賓として、全国協の平賀委員長、県共闘の川端議長、JAL争議団の小栗さん、白井さんに参加頂きました。

議長に郵便小田原の瀧山さん、書記に多摩川病院の藤城さんを選出し、丈夫屋の団交拒否・解雇との闘い、しらゆり歯科の雇止めとの闘い、ピステオンの賃金カットとの闘いをはじめ、非正規労働者、労働相談、22春闘の取組みなど、この一年の活動の総括を全体で確認しました。そして、権利侵害と闘い全ての争議に勝利すること、生活破壊を許さず23春闘を闘うこと、最賃闘争、労働相談に取り組むこと、労働法制改悪反対、脱原発、反戦・反基地、反差別の闘いの強化、全国、地域の仲間との連帯強化による組織強化を柱とした今年度の運動方針を承認

そして例年通り年間ストライキ権を確立しました。今年度は役員改選がなく、昨年度承認を受けた役員を紹介、確認しました。その後、大会に参加した組合員の紹介と一言挨拶の時間を設け、交流の一步としました。

今春以降、資源の高騰やロシアのウクライナ侵攻、異常気象等を理由に、食料品を中心とした諸物価が高騰しています。更に円安によってこの秋以降も値上げラッシュが続く、私たちの生活を脅かしています。生活を守るため、雇用を守るために、全ての組合員が全力を挙げて共に闘い続けていきましょう。



(全国一般神奈川委員長挨拶の様子)

郵産ユニオン神奈川支部大会開催

2022年10月4日(火)県民活動サポートセンターで第4回神奈川支部定期大会が開催されました。

①安全で安心して働ける職場を目指そう! ②全組合員の総意で、支部の強化・拡大に取り組もう! ③地域の仲間と連帯し、争議解決までともに闘おう! ④反戦平和、反核を取り組もう! の4つを大会スローガンとし、2021年度の活動報告では、春闘行動、20条の闘い、土曜休配制度の導入での不利益変更対策、川崎東局の暴行・労災事案や横浜港局のパワハラ、労働条件不利益変更事案の取り組みなどの報告がありました。

そして2022年活動方針は、春闘の闘い、労働条件改善の闘い、あらゆる争議に、地域の仲間と共に闘うことを確認し、第4回定期大会は終了しました。

(報告 桐ヶ谷)